

授業計画（シラバス）

氏名 林サオダ

授業科目の名称	バッチフラワーレメディ		
配当年次	2年次	配当学期	前期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択の別	選択	授業の方法	講義 実習

授業形態 : 講義と実習

目標と授業内容：バッチフラワーレメディは、英国人医師エドワード・バッチ博士が1930年代に開発した植物由来の自然療法である。38種のフラワーレメディ（フラワーエッセンス）を飲むことで感情のバランスをとり、緊急時用のレスキューレメディとレスキュークリームも含めたレメディシステムは、その安全性から一般ユーザーから専門家にまで広く普及している。動物・植物にも使われているので、過去の事例や研究を紹介して本システムの全容を講義する。（実習も含む）

学習評価 : レポートによる。

- | | | |
|------|-------------------|---------------------|
| 第1回 | バッチフラワーレメディ 概論1 | バッチ博士の生涯・レメディ誕生 |
| 第2回 | バッチフラワーレメディ 概論2 | バッチ博士の哲学 |
| 第3回 | バッチフラワーレメディの用法 | レスキューレメディ・レスキュークリーム |
| 第4回 | 38種のレメディ カテゴリー1 | 不安と恐れ |
| 第5回 | 38種のレメディ カテゴリー2 | 内心の不確かさ |
| 第6回 | 38種のレメディ カテゴリー3 | 現実の状況への無関心 |
| 第7回 | 38種のレメディ カテゴリー4 | 淋しさ |
| 第8回 | 38種のレメディ カテゴリー5 | 人や周囲に敏感すぎる |
| 第9回 | 38種のレメディ カテゴリー6 | 失意と絶望 |
| 第10回 | 38種のレメディ カテゴリー7 | 他人の幸せを気にしすぎる |
| 第11回 | レメディの選び方 | 自分の感情と向き合う 実習 |
| 第12回 | 動物のためのバッチフラワーレメディ | |
| 第13回 | 植物のためのバッチフラワーレメディ | |
| 第14回 | ケーススタディ | |
| 第15回 | セルフヘルプと内面の成長 | |

参考図書：心を癒やす花の療法 中央アート出版

バッチフラワーレメディワークブック フレグランスジャーナル社

バッチの花療法 フレグランスジャーナル社

バッチ博士の遺産 (汝自身を癒やせ・トゥエルブヒーラーとその他のレメディ) バッチホリスティック研究会
バッチフラワーレメディ ガイドブック バッチホリスティック研究会